



向陵広場

発行号 第13号
 発行日 平成 29 年5月 11 日(木)
 発行元 向陵編集校友会
 責任者 伊藤有司 (県 10 回卒)

竜巻で倒木した銀杏 (豊橋を襲った竜巻 平成 11 年9月 24 日)

竜巻は11時 05 分頃、豊橋市野依町付近で発生した。竜巻は市街地に大きな被害を与えながら北北東に進み、11 時 18 分頃には豊橋市役所東側を通過した。11 時 21 分には豊川市との境界付近に達し、勢力を弱めながら進路を若干東よりに変えて進み豊川市に入った。11 時 28 分には東名高速道路豊川インターチェンジの東側を通過、11 時 30 分頃には宝飯郡一宮町長山まで達して消滅した。(名古屋地方気象台ホームページより抜粋)

第四棟、理科棟の裏側の数本の銀杏が竜巻で倒れ、隣家の土地を埋め尽くした。それを除去する為にPTA、教職員の総力で一日で復旧した。

写真は倒木した銀杏の切株です。

学校の竜巻被害

平成 11 年9月 24 日に豊橋を襲った竜巻の被害の大きさは忘れないものです。その時、職員室から空を見上げていると俄かに暗くなり細かな物が舞い上がり、それは野鳥の群れが襲ってきたような怖さを感じた瞬間、各教室から悲鳴が聞こえてきた。竜巻の通り道に当たった教室は窓ガラスが割れ生徒の多くが怪我をし、保健室は救護の為にかなり混乱した。

竜巻が通り過ぎた後に各教室の被害状況を調べに回った際、特別教室の天井が落下したり、黒板の近くにあったピアノが後ろまで風の力で移動しており、また校舎の裏にあった銀杏が根元からねじ切れており竜巻の恐ろしさを実感した。後片付けの作業は学校全体で当たり、さらにPTAの役員の方々の力と自動車やチェーンソー等も借り迅速に復旧ができ、正常な授業が回復できた。

(豊商の群像Ⅲ向陵の人々①より抜粋)



竜巻によりねじ切れた銀杏



昭和 41 年6月 航空写真(校舎は木造)



平成 24 年8月28日 航空写真



校旗伝達式 昭和 41 年5月3日